

古着回収しワクチン代寄付

諏訪湖 LC と和支部が事業参加



諏訪湖ライオンズクラブ（LC、大郷正人会長）と同クラブ諏訪和支部（田村方喜子会長）は、古着回収、販売で「リユース・リサイクル業の」**「古着de（で）ワクチン」**事業で、古着を世界規模で販売、循環させて資源の

有効活用と障がい者雇用、ポリオ根絶を後押しする社会貢献にもつなげている。

参加者は古着引き取り用の専用袋を購入し、宅配業者を通して同社に送付。千葉県内とカンボジア内にある同社の現地法人が世界各国へ再輸出、販売をして収益の一部をNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付する仕組みで、専用袋一つ（30センチ）で5人分のワクチン代を贈れるという。同社によると昨年11月末までに約586万人分のワクチン代を寄付し、古着は約4700万着を再利用できたとする。

（日比野真由美）

諏訪湖ライオンズクラブ（LC、大郷正人会長）と同クラブ諏訪和支部（田村方喜子会長）は、古着回収、販売で「リユース・リサイクル業の」**「古着de（で）ワクチン」**事業で、古着を世界規模で販売、循環させて資源の有効活用と障がい者雇用、ポリオ根絶を後押しする社会貢献にもつなげている。

田村委員長は「大掃除の時期にもかかわらず、期待通りの量を集めることができた。家庭で余す物を持ち寄って奉仕ができる『三方良し』の活動。クラブ内限定の取り組みだが、継続できれば」と期待する。和支部の役員たちも「捨てるには惜しく、人にはあげられないと迷っていた衣類を有効活用できた」と喜びながら、袋詰め作業に励んでいた。

集まった古着を専用袋に詰める諏訪湖ライオンズクラブ諏訪和支部の役員

長野日報
Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

1月10日（水）

発行所 長野日报社
〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)
©長野日报社2024